

第5節 試合の見どころ

11月6日(日)	関西学院大学 対 近畿大学	12:00 K.O.	神戸ユニバー記念競技場
	天理大学 対 大阪体育大学	14:00 K.O.	神戸ユニバー記念競技場
	立命館大学 対 同志社大学	12:00 K.O.	西京極陸上競技場
	京都産業大学 対 摂南大学	14:00 K.O.	西京極陸上競技場

関西学院大学 対 近畿大学

前半戦を2勝2敗で折り返した関西学院大学は、HB陣がメンバーの中で固定されていない事が影響しているのか、ゲームコントロールに苦しんでいるように見える。個人能力と勢いを持っている若いメンバーが多いだけに、攻守共に関学らしい試合巧者ぶりを期待したい。一方の近畿大学は、持ち前の1対1の強さを全面に出したアグレッシブなプレーが随所に見られる。前半戦は、接戦を落として2敗となったが、反則数やディフェンス面での細かなミスからの惜敗だけに、これからの上位対決でもひと暴れしそうな存在である。両チーム共に前節では、前半での失点が勝敗を左右しただけに、キックオフからの激しい攻防を期待したい。

天理大学 対 大阪体育大学

開幕から順当に4連勝とした天理大学は、予想通りの強さを見せている。1試合平均が73点、前後半共に平均5~6本のトライを奪う攻撃力に、4試合で失トライが4と攻守共に群を抜いている。また、田村副将の怪我による欠場以外は、メンバーも固定出来ており、これからの後半戦では、如何に大学選手権を見据えた早い展開が出来るかがテーマとなる。一方の大阪体育大学は、ここまで3勝1敗と安定した力を発揮している。FWの強い立命館大、京産大を撃破できた事は、若いメンバーの多いFWにとって大きな自信となっただろう。大体大としては、天理大の爆発的な攻撃力を、高さのあるラインアウトでプレッシャーをかけ、伝統のタックルとボールへの絡みで、少しでも攻撃のテンポを遅らせたいところだ。

(関西大学ラグビーリーグ委員 中尾 晃)

立命館大学 対 同志社大学

前節、近畿大学の厳しいディフェンスに対し苦戦するも強みのFWを前面に出し、期を見てはBKに展開する、安定した試合運びで勝利を得た立命館大学。対する同志社大学もミスから関西学院大学の反撃を受け、最後は冷や汗の一点差勝利だったが、前半の15人一体となった分厚い攻めは迫力十分。立命館大学としては強力FWで近場を攻め続けたいところ。同志社大学はグラウンド全面を使ってスペースを作って戦いたい。どちらの思惑が試合を支配し優位に戦えるか、両校のSH立命館大学 井之上明(2)、同志社大学 下平凌也(3)の動きに注目したい。最後まで目の離せない好ゲーム間違いなし。

京都産業大学 対 摂南大学

4節を終えて共に勝ち星に恵まれていない両チームだが、この試合に掛ける熱意は図り知れない。京都産業大学はこの2週間で生命線とするFWがどこまで意識統一できたか。BKはエースランナーFB山下楽平(2)にどのようにボールを集めるかが勝負の分かれ目。対する摂南大学はテンポのある展開ラグビーをするためにも、カトア・シオネ(3)を始めケガ人の復帰が望まれる。平良克秀主将の快走を引き出すためにも、京都産業大学強力FWの圧力に対応できれば必ずチャンスはおとずれるだろう。両校の想いがぶつかる80分間、激しいブレイクダウンの総力戦が予想される。

(関西大学ラグビーリーグ委員 大崎 隆夫)